

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	発達障害啓発事業			事業番号	011-285
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保			
		有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2,10.3	
		寄与するKPI	有	取組	不平等や偏見及び差別解消のための啓発			
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画、第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画 第2期堺市障害児福祉計画		
3	事業開始年度	平成 30 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	発達障害者支援法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内在住の市民	対象数	823,731	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	発達障害児者が地域・社会で安心して暮らすことができるよう、広く市民へ発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知を進める。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	広く市民へ発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知を図るため、4月2日～8日の「発達障害啓発週間」に合わせて、講演会、ブルーライトアップ、パネル展、懸垂幕・タペストリーの掲揚、リーフレットの配架準備等の啓発活動を行う。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	ダイキチレントオール株式会社、有限会社南海ステージ				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	広く市民へ発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知					
	当該目標を設定した理由	多くの人に発達障害を正しく理解してもらうことが、発達障害児者が地域・社会で安心して暮らすことへとつながるため。				
	目標に対する実績	発達障害啓発週間講演会、パネル展示、ブックフェア、ブルーライトアップイベント、リーフレットの配架を実施した。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	講演会参加者人数		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		目標値	50	100	100	
		実績値	45	72		
	達成率	90%	72%			
	当該指標を選定した理由	講演に参加してもらうことが、発達障害への理解を深める機会となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	講演開催会場の定員を想定。 令和2年度の目標値は新型コロナウイルス感染防止対策により、会場の入場制限を行うことを考慮し設定。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	発達障害啓発事業	事業番号	011-285
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	432	449	517	371	387
13 財源内訳					
国支出金	215	221	258	185	193
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	217	228	259	186	194
14 人件費 (b)	810	820	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,242	1,269	1,337	1,191	1,207

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源	
16 事業費内訳	R3 決算	11	6	講演会会場借上料	R3 決算	0	0		
					R4 予算			44	22
	R3 決算	4	2		R3 決算				
					R4 予算	10	5		
	R3 決算	0	0		R3 決算				
					R4 予算	1	1		
	R3 決算	111	55		R3 決算				
					R4 予算	0	0		
	R3 決算	245	123		R3 決算				
					R4 予算	300	150		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 講演会参加者人数	人	45	72
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,268	1,191
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	28,178	16,542
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>本事業は、市として担うべき発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知を進めることで、発達障害児が地域・社会で安心して暮らすことができるように支援することを目的としており、市の担うべき発達障害の啓発に係る費用として妥当であるとする。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>本事業は、広く市民へ発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知を図るため、「発達障害啓発週間」に講演会、ブルーライトアップ、リーフレットの配付等の啓発活動を実施しており、発達障害児が地域・社会で安心して暮らすための取組として寄与している。</p>
----	---